

【What's 類型】 参照：「令和2年度版 とっとり ICT 活用ハンドブック」 鳥取県教育委員会

今回の類型は…「B3」です。「B3」はデジタル教科書やデジタルコンテンツを使って思考を深める学習です。操作自体は、どの教材も直感的な操作ができるので難しくはないはずです。図は文部科学省の「学びのイノベーション事業」実証研究報告書を引用しています。

ここが
POINT

デジタル教科書を使って、重要な部分に線を引いたり、切り抜いて・シートにまとめる等、デジタルならではの活用で、自分の考えを持つようにする。

・シミュレーターや動画コンテンツを使って、時間的・空間的制約がある辞書を簡単に表現できるので、繰り返し再現し、理解を深める

▶ B3：思考を深める学習



シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

《ICT！（いまこそ、チェックタイム）》

- 教科書や指導書に付属しているデジタル教材（DVD 等）の存在を知っている。
- 指導者用デジタル教科書を使ったことがあり、いくつかの機能を活用できる。
- 学習アプリ（キューブきっず等）を活用させることができる。
- 児童が自分たちでまとめのプレゼン資料が作れるように課題を設定できる。

【 ICT 活用実践紹介】

【花里小 岡田の実践】

教科：算数

活用ツール：「ぎふ web ラーニング」

類型：B1（個別学習：個に応じる学習）

内容：ぎふ web ラーニングを使ってみよう

1. 【授業】「サファリ」を起動
2. 【授業】「ぎふ web ラーニング」で検索
3. 【授業】ログイン画面で「ブックマーク」をする。
4. 【授業】ログイン名・パスワードを伝える。

備考：1年生以外は、去年「ぎふ web ラーニング」を活用しているので、今回は、タブレットから入る方法を中心に指導した。



【岡田のおもいつ記】

今回の実践は、3年生だったので、検索をするときのキーボード入力に時間がかかりました。実際に学習するときには、計算などはノートを活用が望ましいと思います。実は、教師画面ではリアルタイム表示ができます。学校の Wi-Fi を使っているの、家庭用ではなく学校用に入れます。学校用は、学習履歴が残ります。授業の習熟の時間や発展問題の時間、自習の時間に活用をよろしくをお願いします。